

アイデアの系譜学②

若澤佑典文学部准教授
(日吉・英語)

<哲学/哲学者よ、君はもう死んでいる (のだろうか?)>

日吉キャンパスも夏休み期間に入りました。書物とアイデアを持ち寄る本企画も、休暇期間中なので、いつもより愉快地進めてみようと思います。今回のテーマは「哲学×推理」です。笠井潔の『哲学者の密室』（矢吹駆シリーズ）のように現象学的推理が主題となるミステリーもあれば、デイヴィッド・エドモンズの『シュリック教授殺害事件』のように、哲学者をめぐる実際に起こった殺人事件を扱うノンフィクションもあります。あるいは20世紀の哲学をみていくと、哲学という営みそのものが終わった＝死んだと宣告するものもあります。暑くてなかなか頭が働きませんが、湿気のなかで「哲学をめぐる謎の数々」にちょっとずつ触れてみます。

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回のみの単発参加の両方を歓迎します。

日吉の1～2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集まってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です！

哲学殺害事件？ 夏休みブックトーク

8月10日(月)

14:00～

15:00 (予定)

※途中入退室可

場所：日吉キャンパス
来往舎1階 103/104
対象：塾生・教職員
(卒業生、高校生も
来場を歓迎します！)

★事前登録不要★

問い合わせ：
toiawase-lib@adst.keio.ac.jp